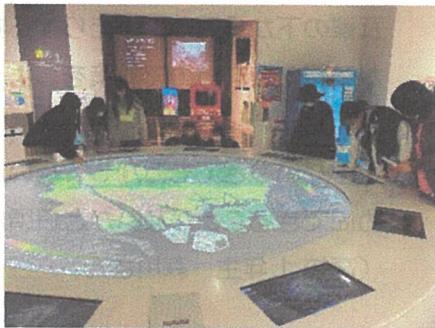


## 阿倍野防災センター(あべのタスカル)へ見学に行きました



昨年から防災を学びに校外学習を続けている UNESCO クラブの活動です。4月 29 日に中高生で阿倍野防災センター(あべのタスカル)を訪問しました。午前中およそ 2 時間、実際に地震や津波に遭遇したときに取るべき行動や救助訓練をすることができる施設です。コロナ禍で学校内での防災訓練等も制限されていた中、あらためて「**自助（一人一人の役割）**」、地域で助け合う「**共助（地域の役割）**」、行政が行う「**公助（行政の役割）**」の 3 つの意味合いを知ることができました。



今回見学したセンターでは地震そのものの恐ろしさだけでなく、「大阪でもし起きたら、起きたときにどう対応するか」と丁寧に対応方法を教えてもらいました。今回の経験をいかして臨機応変に対応できるようにしようとと思いました。（高校 3 年生 尾西さん）

私はセンターで色々なことを体験してみて、やはり防災は日頃から心がけておくべきだなと思いました。消火器の使い方や火事になったときの逃げ方、防災器具の使い方など、知らなかったことがたくさんあって驚きました。（中学 2 年生 徳田さん）

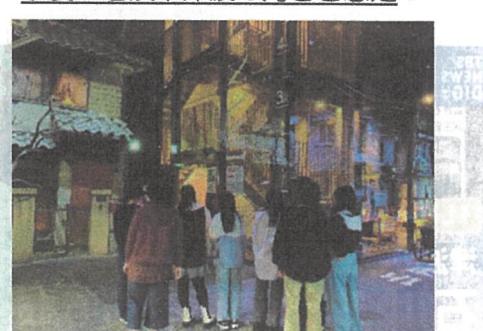
### 消火器使用のシミュレーション



### 火災時の煙下の避難体験



### 余震の危険や津波の高さを想定



防災センターに行って災害の恐ろしさに改めて気づくことができた。災害が起きたときどうすればいいのかを考え、実際に体験しながら身に着けることができてよかったです。（高校 1 年生 渡邊さん）

いつ災害が起こるかわからないので、自分ができることはしっかりと対策をしていきたいなと思いました。今まで防災センターに行ったことがなかったので、良い体験ができました。（高校 1 年生 吉田さん）

## いよいよ 門脇謙介が災害復興大本日 東

地震の動画や体験をさせてもらって、改めてもっと地震について知りたいと思いました。車いすの押し方などまだまだ知らないことばかりで、いつ地震が来てもいいように備え、もっと知識を身に着けようと思いました。阿倍野防災センターを見学して沢山のこと学ぶことができました。（高校1年生 西村さん）



災害時は悪路が多く車いすを操作するのも大変！



普段使わない工具を使って重い障害物を動かす体験

地震の動画や体験をさせてもらって、改めてもっと地震について知りたいと思いました。車いすの押し方などまだまだ知らないことばかりで、いつ地震が来てもいいように備え、もっと知識を身に着けようと思いました。阿倍野防災センターを見学して沢山のこと学ぶことができました。（高校1年生 西村さん）

瓦礫の下から人を助けたりする救助は思ったより難しかったです。地震はいつ来るか予想できないので対策をしようと思いました。（高校1年生 上林さん）

災害がいつきてもおかしくないということが改めてわかりました。自分や家族のためにできることがないかと日頃からよく考えておこうと思いました。（高校1年生 森川さん）



止血や骨折時の固定処置

津波といえば私たちは東日本大震災を思い出すので「東北」で起こったものだというイメージがあると思いますが、大阪でも十分起こり得ると知り身が引き締まりました。また、災害の対応だけでなく心配蘇生法や応急処置も教えていただき、自分の命だけでなく周りの人の命も助けられるようになりました。（高校2年生 清水さん）

## 5月5日：珠洲市で地震再発！

石川県珠洲市では5月5日午後2時42分に震度6強の揺れを、午後10時頃には震度5強の揺れを観測しました。昨年より群発地震が起こっている地域ですが、建物被害の大きさを物語る映像が報道されています。日中に発生した地震であったため避難場所に待機できた人々も多いですが、一時的にライフラインも止まりました。

石川県立飯田高校では8日から授業を開始し、地震によって倒れた本棚を戻すなど校内の修復と大掃除をした様子。担任の先生は「たぶんこの中で、すごく怖い思いをした人がたくさんいる。家が崩れたりとか、家族がけがしたような人もいる。つらい思いをした人がいることを想像してほしい」と生徒に語った。（北陸放送 23.05.08）



珠洲市にある飯田高校の様子

